

予算化要望 概要版

宇都宮市議会 自由民主党議員会

はじめに

我が国の経済情勢は、百年に一度の世界的不況に襲われ、一昨年アメリカにおいて発生したサブプライムローン問題に端を発し、リーマンブラザーズの破綻による世界的金融市場の崩壊の影響を引き続き受け、さらに、急激な円高などによる不透明感がまん延し、なかなか最悪の状態から抜けきれないでいる。また、都市と地方では依然として、内需産業と外需産業、あるいは個々の生活における世代間等で様々な形の格差社会が到来し、国民が将来の見通



新幹線ポスターから



その面には、落せば愉快がたくさんあります。おもしろいことだらけの活動がある。その中で楽しいのが、走る。走ることで、心も体も元気になります。100年史を機に、市民協働の推進を強く要望するものであります。

しに対する不安を感じているのも事実であり、世界一安全安心な国としての誇りが失われ、国民生活の困窮が強烈に感じられるようになっていく。

国においては政権が交代し1年が経過したが、最重要課題であるはずの景気回復策が効果的に実行されず、一向に混乱の状態から抜け出せないでいる。

さて、本市の財政は、これまで、財政力指数・経常収支比率・自主財源比率等、財政の健全性を示す数値が全国類似都市と比較して相対的に上位に位置し、財政面での健全性は確保されていると考えられる。しかしながら、全国多くの地方自治体が少子高齢化と金融不安の影響により、産業・経済面での活力の低下、就業人口減少による歳入の減少等、厳しい財政状況による都市経営を余儀なくされている。

少子高齢化に伴い扶助費は本市も年々増加し、また一方では、農林業、建設業、小規模小売店などの地場産業については景気回復の兆しがあまり見られず、本市でも地域間・産業間格差が表れてきている。

そこで、近年刻々と変わる市民のライフスタイルや消費者ニーズを鑑み、さらに本市としては財政の安定確保と健全な行財政運営を基本に景気対策に積極的に取り組むことを要望するとともに、住んでよかったまち、住んでみたいまち宇都宮の実現に向けて、おもてなしの心をもった、産・学・官一体となった市民協働の活気あるまちづくりの推進を強く要望するものである。

1、行政経営について

北関東初の50万人都市である「宇都宮市」は、将来において政令指定都市や道州制による州都を目指すためには、主体的・自立的な都市経営基盤確立が必要不可欠であり、財源の安定確保と健全な行財政運営が求められる。昨年国

においては政権交代が行われ、不透明な舵取りに株価の下落や消費の更なる冷え込みを招き、景気が不安定な時代に突入した。従って、平成23年度の市税収入の伸びが期待できない中、更には今後の少子高齢化に伴う扶助費の上昇など

住んでみたいまち | 住んでよかったまち

宇都宮の実現目指し

市民協働の活気あるまちづくりの推進を